

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 親子で和文化に挑戦しちゃう会

1 事業名	親子で御茶室体験〈お祝いのお茶席〉
2 事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	実施日 令和6年9月29日（日） 場 所 宝塚山下松涛軒（宝塚市中山寺 3-3-8） 回 数 11時/12時/13時30分/14時30分 内 容 当日は気温が高く、御茶室にはクーラーが無い為、参加者の方々の体調管理を考え、急遽、本席の会場を広間に変更しました。 待合のお部屋にて、茶道に関する基礎知識（茶道の歴史、御道具のお話し・お菓子&お茶の頂き方等）をお勉強した後、待合から庭を通り抜け、踊り口から御茶室に入って頂きました。 そして、広間に移動し〈お祝いのお茶席〉を体験しました。 広間の床の間等の設えは【奉祝と宝塚】を表す掛軸などを掛け、普段、御茶室の花は茶花（山野草）を飾るのですが、今回は宝塚→宝塚歌劇団→ベルばらということで、深紅のバラを飾りました。 裏千家茶道家の先生のアドバイスで、折角の機会なのでお子様のお茶は先生に点てて頂き、保護者の薄茶はお子様にご点てて頂きました。 サプライズのお点前体験で驚いていらっしゃいましたが、とても楽しんで頂けました。 今回の御釜の一部には螭螂が表されており、子ども達は興味津々で御道具に見入っていました。 参加者数 親子2名11組＝22名 保護者の方の都合によるキャンセル、お子様の体調不良によるキャンセル（手足口病による当日キャンセル有）がありました。 又、当日参加者あり。 宝塚市広報課の取材、市長様のご訪問を頂き、お茶を召し上がっていただき体験して頂きました。

3 市制 70 周年をお祝いした内容

市制 70 周年を【祝う】気持ちを茶室の設え・床の間飾りに始まり、御茶道具一式、主菓子までのトータルでの【祝】を表現致しました。
宝塚市の子ども達に日本文化を知ってもらう、地元の御茶室で開催することにより地元にも興味を持ってもらう機会を寄与しました。

4 事業の効果・成果

グローバル化が進み、インバウンド効果もあり外国の方々との交流も増えていく次世代の子ども達に和の空間を体験してもらうことで、自国の文化を知り、日本人としてアイデンティティーを持ち、世界の人々と交流をする際の知識と自信の一つとなると考えます。
今回の親子で初めてのお茶席を体験することは、和文化に興味を持って頂けたようです。又、親と子どもで一つの事を共有することによって、特別な達成感を味わっていただきました。

5 実施した安全対策

会場は正式な御茶室であり、限られた空間で安全ですが、会場整理の担当者を設置しました。